

「名門復活」と「向上進取の精神と高い志の涵養」を目指し、最重要課題「学校の組織的な教育力の強化」を推進してきた、今年度の結果である。今年度の結果を検証し、改善を加え、次年度へ反映させ、学校全体で取り組んでいく。下線は昨年度比で上昇した数値を示す。

6年度の数値目標		6年度成果	令和5年度	←令和4年度	←令和3年度
①	国公立大現役合格者数	10名以上	<u>6名</u>	5名 ← 4名	← 3名
②	難関私立大（早慶上理）現役合格者数	8名以上	<u>0名</u>	1名 ← 1名	← 5名
③	上位私立大（GMARCH等）現役合格者数	50名以上	<u>18名</u>	27名 ← 30名	← 55名
④	日東駒専現役合格者数	90名以上	<u>80名</u>	77名 ← 83名	← 65名
⑤	大学入学共通テスト受験者数及び平均得点上回り率	180名、1.00以上	<u>196名 0.92</u>	150名 ← 154名	← 152名
⑥	全国模試3教科・科目1年生の平均偏差値	48以上	<u>48.5</u>	48 ← 46.7	← 44.8
⑦	全国模試3教科・科目2年生の平均偏差値	49以上	<u>48.8</u>	47.1 ← 46.8	← 47.2

(1) 教育活動の目標と方策に関する評価 ※内部評価はA満足 B概ね満足 C改善が必要な3段階

項目	内部評価	成果と課題	改善策
学習指導 進路指導	1	<p>[成果]外部教育機関講師による大学入学共通テスト動向の研究研修会による面談等の活用。英語4技能対策GTEC到達度及び分析の実施。教科受験指導の見直し。</p> <p>[課題]大学入学共通テスト受験者数が減少傾向、平均得点の上回り率の上昇。総合型選抜受験希望者が増加による指導が課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科内で国公立大学や難関私立大学等受験への対応として、共通テストの難関私立大学レベルの研究活動。</li> <li>教科ごと模擬試験分析方法のノウハウを構築し、学習指導への反映。</li> <li>教科内での大学入試問題を分析し、具体的な指導の構築。</li> </ul>
	2	<p>[成果]模擬試験分析ソフトの有効活用研修会の実施。立志塾による国公立難関私立大学志望者への支援(講習計画、外部機関講師による共通テストガイダンス、小論文志望理由書講演会指導、)</p> <p>[課題]生徒の学力到達度及び受験志望状況の共有による学習指導体制及び内容の見直し。各教科の組織的な指導体制の強化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科単位の模試分析会の継続</li> <li>ケース会議を出願検討会へ移行して受験指導の促進、模試の事前・振り返り指導の実施検討</li> <li>個別面談指導、保護者受験ガイダンス計画化</li> <li>立志塾の戦略的な年間講習計画の構築と個別指導の充実</li> </ul>
	3	<p>[成果]計画的休業日、平日・土曜講習の充実</p> <p>[課題]到達度を把握した効果的な講習計画。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日、土曜講習補習の組織的指導体制</li> <li>講習計画による教科の分業化</li> </ul>
	4	<p>[成果]英語実用検定の準2級108名2級81名合格。図書館ホームページが充実</p> <p>[課題]不読率の減少を目指し、新校舎図書館でのビブリオバトルや読書週間など読書活動の更なる推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語技能外部検定の全員受験</li> <li>貸出率、不読率の可視化。新聞の活用</li> <li>探究学習の年間計画</li> </ul>
	5	<p>[成果]多様な学習ニーズにおける合理的配慮の校内研修会実施。通級の指導体制の確立</p> <p>[課題]特別支援教育(発達障害等)の理解推進及び外部機関との連携。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育コーディネーター、SCとの連携体制の充実</li> <li>教育相談委員会随時開催、外部機関との連携強化</li> </ul>
	6	<p>[成果]分掌学年の連絡会拡大分掌部会、</p> <p>[課題]進路指導計画、キャリア教育体制の見直し。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアガイダンス進路指導部主導</li> <li>「府中のベクトル」、「年間LHR指導計画」作成精査。</li> <li>指導根拠の共有化推進</li> </ul>

	7	ボランティアマインドの育成等、全教育活動を通してオリンピック・パラリンピック教育を推進していく。	C	[成果]オリンピックのレガシー活用。 [課題]ボランティアマインドを身につける取組が必要。	・教科指導にとどまらず、学校行事や部活動を通じた組織的なボランティアマインドの育成を図り、地域の課題と連携を探索させる。
生活指導	1	時間遵守の指導、挨拶の励行の徹底、頭髮の染色、化粧や装飾品等をさせない指導等、基本的生活習慣を確立する。	B	[成果]生徒・保護者、教職員で校則の見直しを継続し拡大生活指導部会で共有。 [課題]生徒保護者教員の基準共有化。指導の格差解消。	・学校全体として取り組む意識を高めるとともに、教員ごとの指導根拠の温度差を解消する手立てが必要。
	2	授業規律をはじめとした学校生活のルール・マナーを遵守させるため、生活指導を全校体制で行う。	B	[成果]チャイム始業・終業は徹底され、規範意識の向上に繋がっている。 [課題]遅刻常習者への対応。	・時間を守る習慣を主体的に定着させるさせる。 ・生活指導部と学年が生徒の主体的な規範規律意識の効果的な指導。
	3	いじめや体罰は絶対にさせない見過ごさない校内体制を構築し、生徒や保護者に安心・安全な学校生活を保障する。	C	[成果]SNSルールを徹底し、セーフティ教室を実施して、モラルとマナーの向上指導を継続。  [課題]いじめの継続した研修を実施し、教員の意識格差の解消。	不適切な指導や対応の理解を深め今後も、継続した研修を実施し、「見極めて育成する指導」を職員体制で体罰根絶に取り組んでいく。
特別活動 部活動	1	部活動を奨励し、第1学年において全員が部活動に所属し、積極的に活動する指導体制を構築する。	B	[成果]第1学年全員加入は推奨、部活動加入率は、学校全体で87.5%に下降している。女子バレーボール部関東大会出場  [課題]部活動ガイドラインの理解遵守。保護者への周知理解と事故防止対策指導が不十分ある。	各部活動の特性により、活動する機会をより多く提供できるよう環境を整え、積極的に効率的活動を目指していく。日常の学習と学校行事と部活動にメリハリをつけさせる。部活動ガイドライン、事故防止対策周知徹底
	2	学校行事や委員会活動を充実させ、社会性や帰属意識の育成を図るとともに学校内外に貢献する姿勢を醸成する。	B	[成果]生徒主体による実行委員形式の学校行事や生徒会・委員会活動が積極的に活動している。  [課題]行事の意義と質を高めることが課題である。	・生徒主体の活動機会を増やすとともに、学校外での活動に積極的に参加させ、社会性を育成する。 ・文化行事企画枠の検討
防災教育 安全教育	1	災害から自らの命を守るために必要な「自助」の能力を身に付けさせ、地域で助け合うなど「共助」の精神を育成する。	A	[成果]避難所設置運営訓練として避難所運営ゲームによるシミュレーション訓練となった。生徒・職員の危機管理意識の高揚。 [課題]地域共助の連携した防災訓練の充実を図る。	・関係機関や地域連携を強化し、「自助」「共助」の意識の醸成を図り、より実践的な訓練を定着させる ・防災訓練のより実践的な取り組み
	2	学校安全計画年間指導計画に基づき、登下校時の交通安全と災害等に対応した安全指導を推進する。	C	[成果]生活指導部を中心として、指導が行われ、大きな事故は発生していない。自転車交通安全教室実施による意識啓発 [課題]登下校時の事故、特に自転車通学者事故対策。ヘルメット着用義務の徹底	次年度以降も登下校時の安全指導の充実を図っていく。特に、自転車ヘルメット着用の定着指導。 ・自転車安全教室アプリの導入 ・SNS安全教育、薬物乱用教室
体力向上 健康増進	1	体育授業、部活動、学校行事等あらゆる機会を捉えて、体力及び運動能力の向上を全校で取り組む。	B	[成果]オンラインを活用したからだづくり運動及び持久走に取り組んだ。 [課題]改築改修工事に伴う施設使用制限。運動部活動、行事の場の確保。授業部活動の事故防止	改築改修工事に伴う使用施設制限下で、水泳授業の復活。の環境を整え、体力向上と事故防止の取り組み徹底。
	2	東京都体力テストの結果を踏まえ、普段運動をする習慣のない生徒に、効率的に運動量を確保する取組みを推進する。	C	[成果]実運動の絶対量の不足。オンライン授業と組織的な活用の向上。 [課題]学校全体として行事等を通じて、体力向上を図る。	体力テスト結果の共有による体力向上の意義を理解させ、取組みの充実を図り、東京都体力テストの平均値を上回る種目を増やす。
	3	生活習慣病に対する知識や対処を学び、がん教育を推進する。感染症防止対策を徹底し、健康な生活を維持する。	A	[成果]3学年にがん教育の意思を講師として招聘し、生活習慣病について理解を深めた。また女性のからだとLGBTQについても産婦人科医講師による講義を実施した。 [課題]女性の体とLGBTについての理解を推進する。	・各教育活動全般において、健康管理や性的マイノリティへの理解を推進する取り組みを実施する。 ・歯科検診指導
募集広報	1	ホームページの学校紹介分野を充実させる。学校から地域・保護者等への最新の情報発信に努める。	B	[成果]更新回数148回  [課題]タイムリーな更新とホームページレイアウトの改善。	次年度もタイムリーな更新を行い、きめ細かな情報発信に努めるとともに、HP運営の組織化を図り、内容を充実させる。

	2	本校を第一志望校として目指してもらえよう、部活動等の広報や、中学校との連携事業を推進する。	A	[成果]新校舎での学校説明会倍の高倍率学習塾等説明会実施による情報共有。HP更新と新レイアウト [課題]中学校及び塾等との情報共有につとめ、ニーズを把握する。	・系統性のある進学指導の充実 ・新校舎改築工事に向けて、多摩地区中堅進学校へ特色化推進による外部への情報発信を一層強化する。
学校経営 組織体制	1	教科主任会を定例化し、教科会における学習指導を組織的、効率的に実施する。	C	[成果]教科主任会と教科会をリンクした月例実施により、適切な教育課程の進行管理及び進路指導の連携した立志塾体制が充実した。 [課題]学力到達度の共有と模試分析を活用した教科指導力向上。	模試分析会の3教科内フィードバックと活用、英語力の到達度分析による活用、国公立大学難関私立大学希望者の学力向上策「立志塾」年間講習指導計画の作成。
	2	各種会議や委員会を定期的に開催し、課題解決を図る。	B	[成果]新校舎会議室タイムス無線LANの構築による会議資料の節約と対面会議。テレワークの推奨と学年会水曜放課後確保 [課題]打合せや諸会議のオンライン化による有効活用。水曜日以外に会議研修等の設定による委員会開催	・企画調整会議資料の電子化 ・更なるデジタル化の推進による情報の流通促進と共有化の向上 ・拡大分掌部会・学年会の定例開催の確保及び各部との連絡会実施
	3	教師、生徒における暴力行為や暴言、すべての体罰の根絶を図る。	B	[成果]学校としての最重要課題として、研修と指導を通じて全教職員で取り組むことができた。 [課題]教師同士が防止する職場風土づくりと不適切な言動による指導の改善	・アンガーマネジメントや生徒理解を進める研修会の実施 ・服務事故実践事例による態様の把握による意識向上による組織的防止対策の取り組み
	4	教育相談委員会を設置して、スクールカウンセラーとの連携を密に行い、問題の共有化による組織的な課題解決を図る	A	[成果]教育相談委員会の随時開催 SC、養護教諭、当該学年との連携向上。生徒ケース会議による組織的な迅速対応。生徒ケースの共有化 [課題]多様な学習ニーズによる質の高い学びの実施体制。	・コーディネーターの位置づけと役割の明確化による実質的な役割。 ・特別支援学校のセンター的機能を充実させたネットワークづくり ・SCによる発達障害等本校の特別支援教育校内研修会
	5	IT推進チームを核にデジタル化を推進し、統合型学習支援システムを活用する。「生徒一人一台情報端末機器」の組織的な有効活用	A	[成果]全教室及び不登校生徒のオンライン学習を実施可能な環境整備による実施 [課題]生徒一人一台情報端末の活用充実	・不登校生徒等に対応する授業行事等のオンライン配信または通信教育等の組織的なデジタル化推進
	6	経営企画室の業務進行管理を機能的に行い、都民の信頼に応える。	B	[成果]情報管理及び役割分担の複数体制の改善徹底。 [課題]改築や校舎移転、予算執行等、より一層の連携充実を図る。	業務の進捗管理、連絡及びチェック体制の強化を図るとともに、教育職と行政職の一体感をより高め、経営参画を強化する。